

2019 Surface Pro セットアップ マニュアル



セットアップ目次

セットアップに必要なもの
Surface Pro 各部名称

初期設定

キーボード設定

USBメモリの接続

ウイルスバスターのインストール

ネットワーク接続

ウイルスバスターの認証

Officeのライセンス認証

巻末記載

Windows Update

Microsoft Store

Office Lens

Surface ペンのペアリング

Windows Hello の設定

Microsoft アカウントの新規作成

Microsoft アカウントを OS に設定

OneDrive の設定

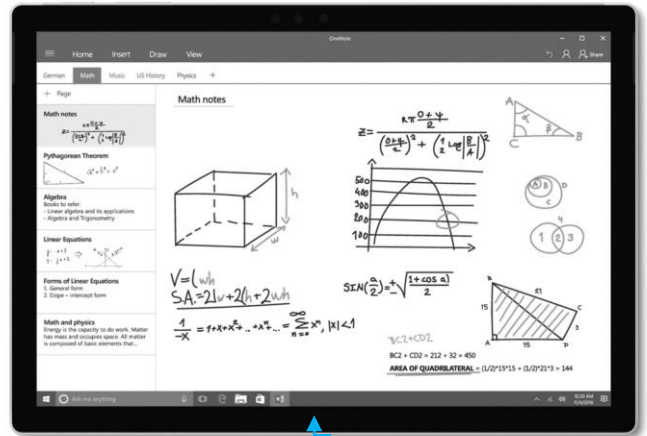
Acrobat Reader のインストール

このPC は大学生協オリジナルモデルです。
本セットアップマニュアルは大学生協が発行しております。

セットアップに必要なもの

Surface Pro 本体

Windows 10 をタッチで操作できるタブレットPCです。キックスタンドで自立し、角度調節も自在です。



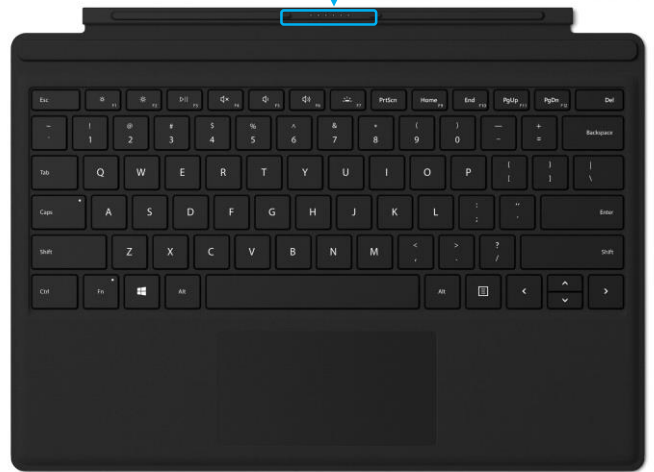
Surface ペン

Surface ペンでは、紙に書くのと同じように手書き入力ができます。ペンを使用しない場合は、マグネットを使って画面の左端に取り付けておきます。

タイプカバー



タイプカバーを接続したSurfaceはノートPCです。マグネット部分をカチッと音がするまで差し込みます。スクリーンを保護する役割も果たします。



ACアダプタ



Surface は動画再生13.5時間と長持ちです。充電、長時間の作業の際に利用します。

Office ライセンス

4年間利用できるOfficeライセンスをセットにしています。

ID・パスワード記入欄

Office アカウント ID

Office アカウント パスワード

ローカルアカウント パスワード

PIN

MSアカウント ID

パスワード

ウイルスバスター 登録メールアドレス

パスワード

セキュリティソフト



トレンドマイクロ社のウイルスバスター4年版をセットにしています。講習会でインストールを行います。

Surface Pro 各部名称

Mini Display Port

プロジェクター・TVへの接続に使用します。※変換アダプタが必要です

USB3.0端子

USBメモリ・プリンターなどのUSBアクセサリを接続します。

充電端子(Surface Connect)

ACアダプターを接続し充電します。

microSD スロット

microSD カード (別売)を挿したままUSBメモリのようになります。

キックスタンド

最大165度まで角度調節できます。

電源・音量ボタン

ボタンで電源ON・スリープできます。音量調節も可能です。

カメラ

本体正面の5Mカメラ・顔認証カメラ、本体裏8Mリアカメラで撮影可能です。

3.5mmイヤホンジャック

ヘッドホン・マイクを接続します。

12.3 インチ・縦横3:2のタッチ液晶

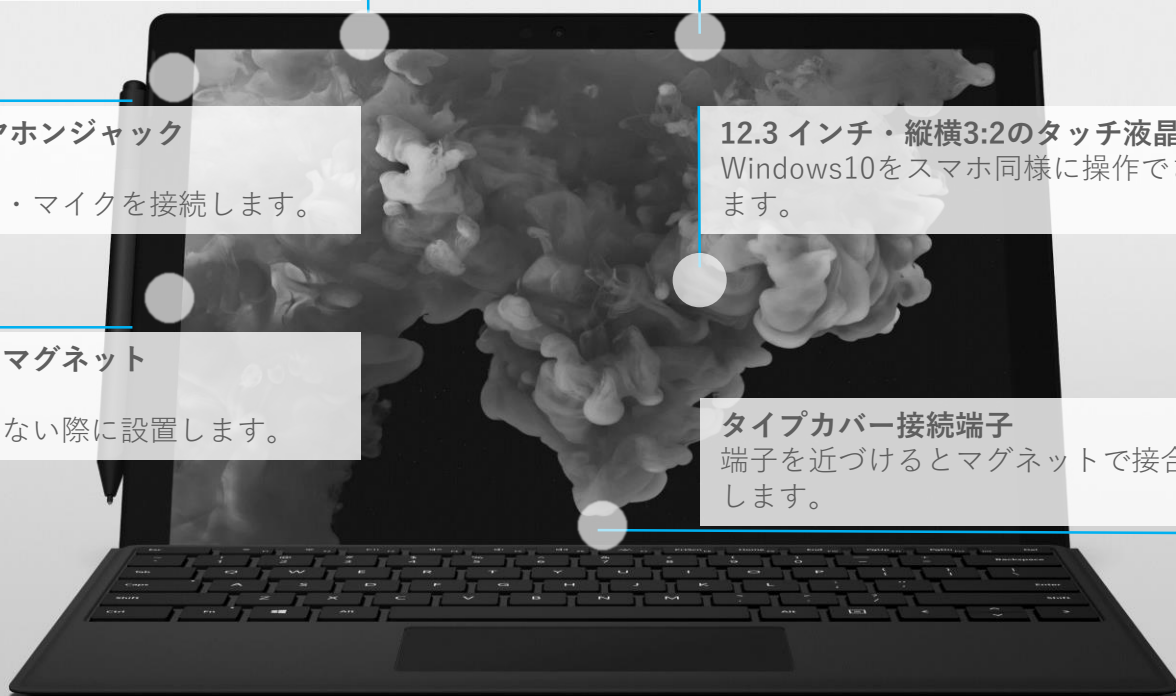
Windows10をスマホ同様に操作できます。

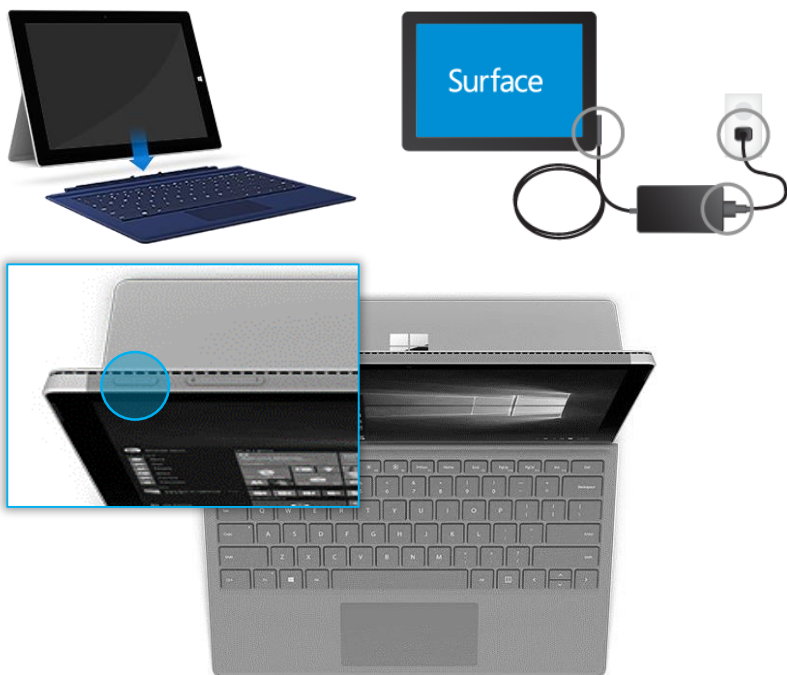
ペン設置用マグネット

ペンを使わない際に設置します。

タイプカバー接続端子

端子を近づけるとマグネットで接合します。





自身で初期設定を行う際は、途中でシャットダウンせずデスクトップ画面が表示されるまでの工程を必ず完了させてください

タイプカバー端子を Surface の底面部マグネットに装着します

本体・ACアダプター・コンセントにケーブルを接続します

Surface左上部の電源ボタンを押します

Surface ロゴが表示され、しばらく待つと初期セットアップにうつります

選択した言語で続行しますか?

日本語

English (United States)

「日本語」「English」の2つから「日本語」を選択します

[次へ]をクリックします

置換のご案内はこれくらいにして、さっそく始めましょう。

Cortanaが説明を読み上げ始めます

音声をOFFにする場合は

左下のマイクのアイコンをクリックし、

禁止マークを表示させます

お住まいの地域はこちらでよろしいですか?

香港特別行政区

赤道ギニア

台湾

中央アフリカ共和国

中国

南アフリカ

南スーダン

南極

日本

はい

地域の選択画面が表示されます

「日本」を選択し、[はい]をクリックします

キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか?

Microsoft IME

キーボードレイアウトの確認画面が表示されます

「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、[はい]をクリックします

2 つ目のキーボード レイアウトを追加しますか?



レイアウトの追加

スキップ

キーボードレイアウトの追加を確認されます

[スキップ]をクリックします

ネットワークに接続しましょう

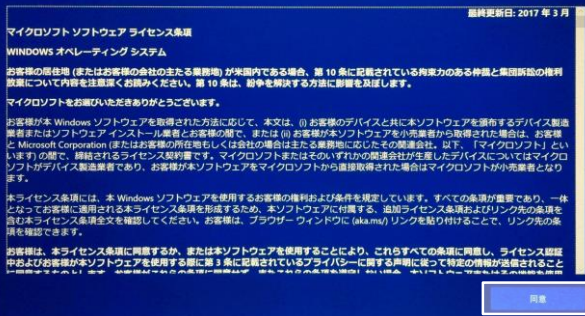


今はスキップ

Wi-Fi の接続画面が表示されます

画面左下の文字[今はスキップ]をクリックします

ライセンス契約をお読みください



ライセンス契約の画面が表示されます

[承諾]をクリックします

この PC を使うのはだれですか?

使用する名前を選んでください。



Input field for name

名前(アカウント)を入力します

半角英数、アルファベットでの入力を推奨します

[次へ]をクリックします

確実に覚えやすいパスワードを作成します

この種類のアカウントでは、パスワードを紛失した場合に取得する方法がありません。このため、必ず覚えることのないパスワードを選んでください。



Input field for password

パスワードを設定します

[次へ]をクリックします

※「Windows Hello」の設定画面が表示される場合は[今はスキップ]をクリックします

このアカウントのセキュリティの質問を作成します

パスワードを忘れた場合に備えて、3つのセキュリティの質問を選択します。答えを将来に覚えていられる質問にしてください。



パスワードを忘れた際の質問と答えを設定します

[次へ]をクリックします

Cortana をパーソナル アシスタントとして指定しますか？

私の名前はコルタナです。最大限のお手伝いができるように、ユーザー情報を使用してもよろしいですか？



デバイスがロックされているときも自動的に、パーソナライズされたエクスペリエンスと適切な提案を Cortana からご提供できるように、Microsoft では、あなたの位置情報やその他の情報、連絡先、音声入力、音声認識/Cortana、検索履歴、カレンダーの詳細、電子メール、テキストメッセージやインスタントメッセージングアプリからのコンテンツおよび他の通信、ご使用のデバイスに関するその他の情報を収集し、活用させていただきます。Microsoft Edge では、閲覧履歴が Cortana で使用されます。

Cortana に保存する情報は、[ノートブック] で変更できます。Cortana を Microsoft Edge 上で無効にすることもできます。

デバイスのプライバシー設定の選択

Microsoft では、ユーザーによる設定に応じてプライバシーを管理します。設定を選択し、[同意] を選択して保存してください。これらの設定はいつでも変更できます。

- 位置情報**
地域の天気やお気に入りの場所への案内など、位置情報に基づく機能を使用できるようになります。有効にすると、Windows やアプリで位置情報が要求されます。位置情報データは Microsoft に送信され、位置情報サービスの追跡向上に役立てられます。
 オン
- 診断**
問題の解決と、Microsoft の製品やサービスの改善にご協力ください。診断データ、ブラウザ、アプリと機能の使用状況、手書き入力やタイプ入力データを Microsoft に送信されます。
 オン
- 音声認識**
Cortana や、音声認識に対応したストアアプリに話しかけることができます。音声入力は Microsoft に送信され、音声認識サービスの追進向上に役立てられます。
 オン
- 診断データを使用してエクスペリエンスをカスタマイズする**
より適切なヒントと推奨事項を取得して、Microsoft の製品やサービスをニーズに合わせてカスタマイズできるようになります。これを有効にした場合、Microsoft はお客様の診断データを使用します。
 オン
- 関連性の高い広告**
上の設定や、Windows Defender SmartScreen の機能、関連するデータ転送、使用方法を確認するには、[詳細情報] を選択します。
 オン

Cortana(コルタナ/検索アシスタント機能)の設定

[はい]をクリックします

プライバシー設定の画面が表示されます

[同意]をクリックします

準備をしています。PC の電源を切らないでください

しばらく待つと、デスクトップ画面が表示されます

これでSurface の初期設定は完了です



USBメモリの接続



甲 (D:)
選択して、リムーバブルドライブ に対して行う操作
を選んでください。

操作手順

USBメモリをSurface 右側面の USB ポート
に接続します

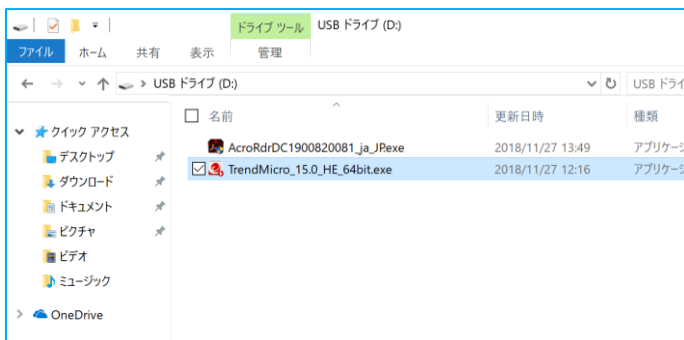
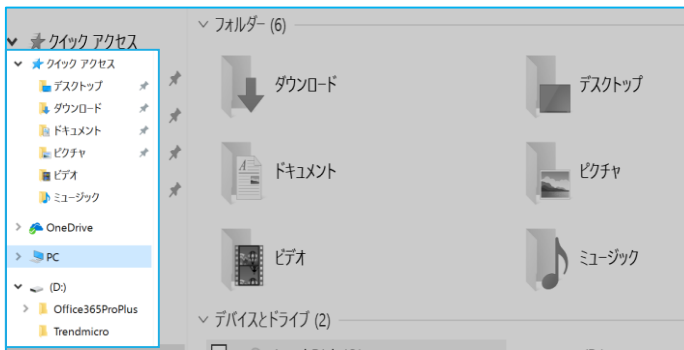
画面右下に接続を知らせるウィンドウが表
示されます

デスクトップ画面下部にあるフォルダのアイ
コンをクリックします

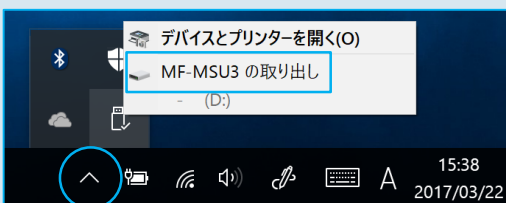
エクスプローラーのウィンドウが表示されます

ウィンドウ内、左列の[USBドライブ(D:)]とい
うアイコンをクリックします

Dドライブの内容が表示されます



USB機器の取り外し



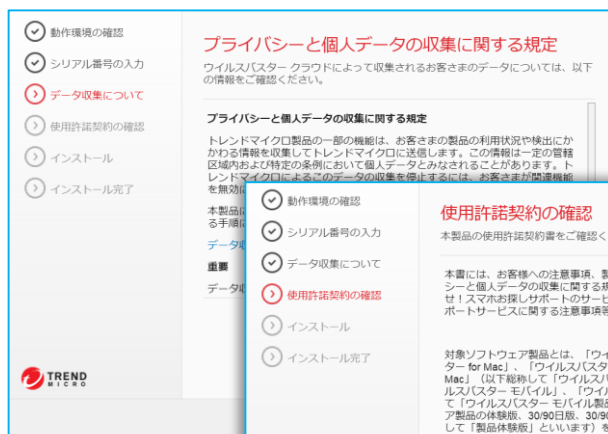
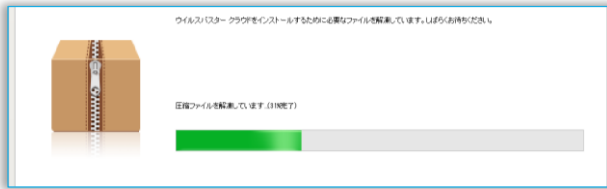
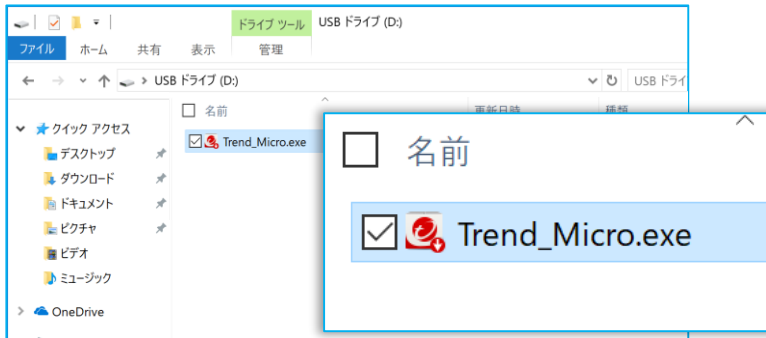
ハードウェアの取り外し
'USB 大容量記憶装置' はコンピューターから
安全に取り外すことができます。
エクスプローラー

デスクトップ右下の[⏏]アイコンをク
リックします

USBメモリのアイコンをクリックし、
[~の取り出し]をクリックします

ウイルスバスターのインストール

操作手順



セットアップ講習会に参加しない場合

ウイルスバスターのパッケージに同梱された
マニュアル通りに行ってください

[USBドライブ(D:)]内

もしくはデスクトップにコピーした

「Trend_Micro」をダブルクリックします

自動的にファイルの解凍が行われ、インス
トールプログラムが立ち上がります

「製品版」を選択していることを確認し、シ
リアル番号を空欄に入力します

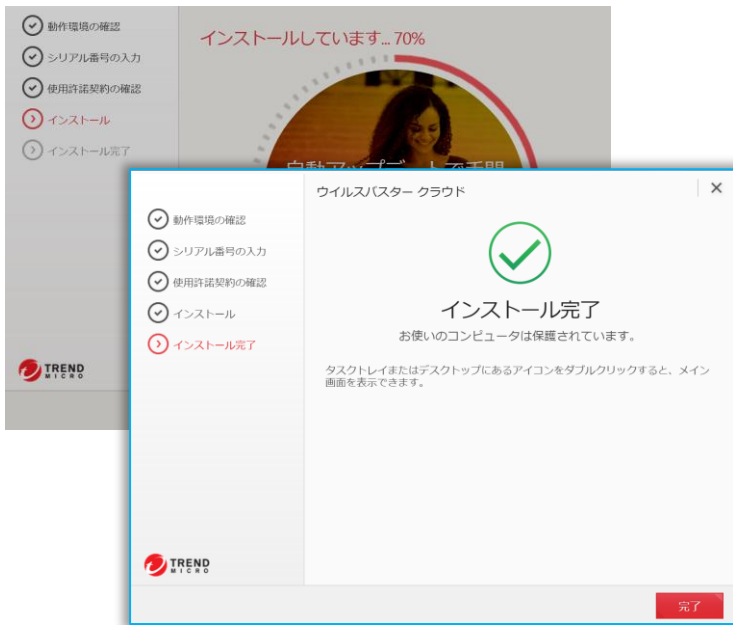
シリアル番号は
パッケージ同梱の
「大切に保管して
ください。」
というシートに
記載されています



入力して[次へ]をクリックします

プライバシー・使用許諾の確認画面が表示
されます

それぞれ[同意して次へ]・[同意してインス
トール]をクリックします



インストールが開始されます

しばらく待つと「インストール完了」と表示されます

[完了]ボタンをクリックします



ランサムウェアに関する表示が現れる場合は[閉じる]をクリックします

PCの保護状況に関するレポートのメールの選択画面が表示される場合があります

[はい]を選択します



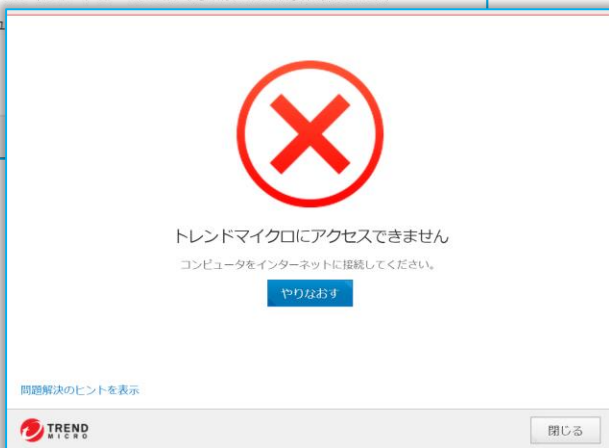
インターネット接続がないためアクセス不能を示す画面が表示される場合があります

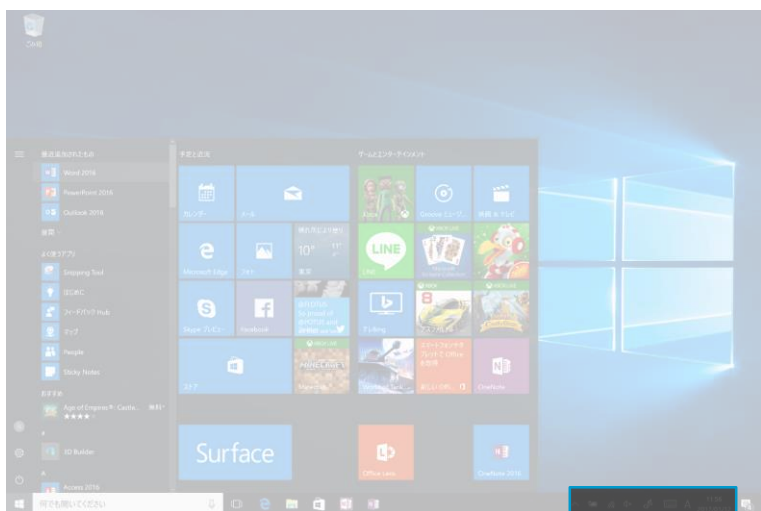
右上の[×]ボタンを押してウィンドウを閉じます


ウイルスバスターのインストールは完了しましたが、ユーザー登録を行う必要があります

ユーザー登録にはインターネット接続が必要です

インターネット環境下でウイルスバスターを起動させることで、保護機能の有効化手続は再開可能です





画面の右下隅にある  アイコンをクリックすると、接続可能なアクセスポイントが表示されます

灰色...未接続

白色...接続

接続するアクセスポイント名をクリックし、[接続]をクリックします

セキュリティキーを入力し、[次へ]をクリックします

アイコンが白色になると接続完了です

宅内でのインターネット利用には Wi-Fi ルーター・アクセスポイントおよび回線契約が必要です



認証作業には登録用としてメールアドレスが必要で

携帯電話会社のアドレスは登録に利用できません

Microsoft アカウント[~@outlook.jp]はメールアドレスとして登録可能です

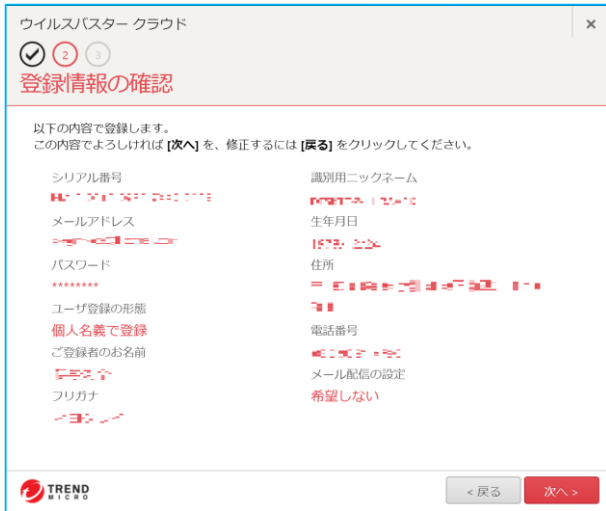
デスクトップの「ウイルスバスター クラウド」のアイコンをダブルクリックします

ウイルスバスターのウィンドウ内の
[有効にする]ボタンをクリックします
メールアドレスを入力し[次へ]をクリックします

以下を入力します

- ・メールアドレス
- ・パスワード
- ・ユーザー登録...個人名義
- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所
- ・電話番号
- ・メール配信希望

[次へ]をクリックします

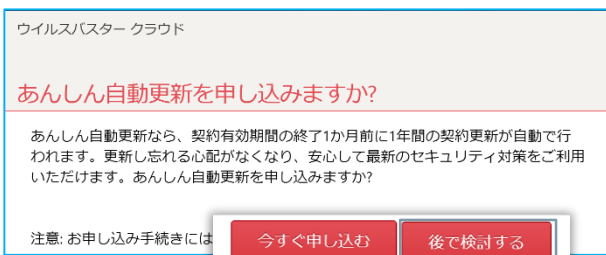


登録情報の確認画面が表示されるので、**[次へ]**をクリックします



ユーザ登録が完了しました

[次へ]をクリックします



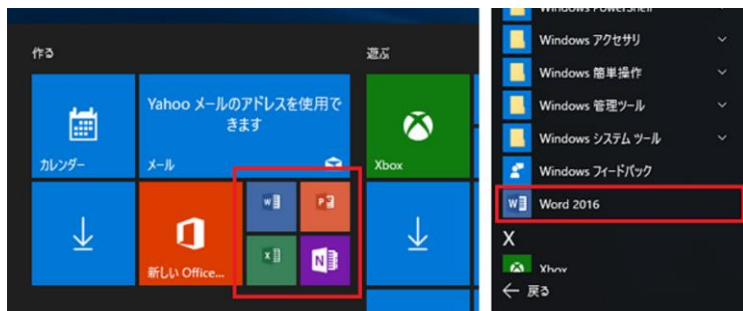
あんしん自動更新の申し込み案内が表示されます

[後で検討する]をクリックします



登録完了すると**[スキャン]**ボタンが緑色に変わります

ウイルスバスターの有効期限はメインウィンドウ右下下部に表示されます



ライセンス認証にはご入学の大学によって下記いずれかのIDとパスワードが必要です

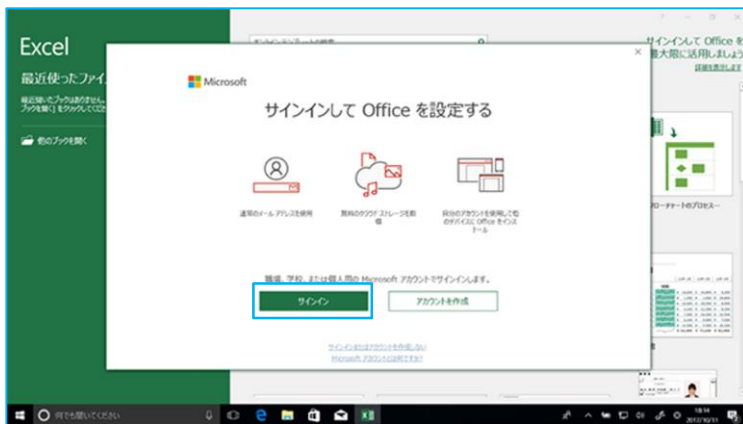
- ・大学から提供するID・パスワード
- ・生協から紙面にて配布のID・パスワード

スタートメニューを開き、いずれかの Office アプリケーションを起動します

(Word/Excel/PowerPointなど)

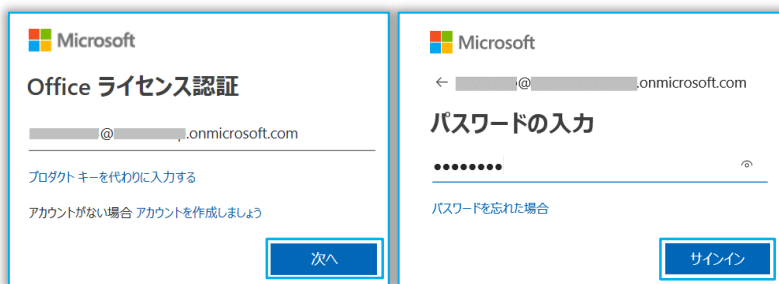
アカウントでのサインインを促す画面が表示されます

[サインイン] をクリックします



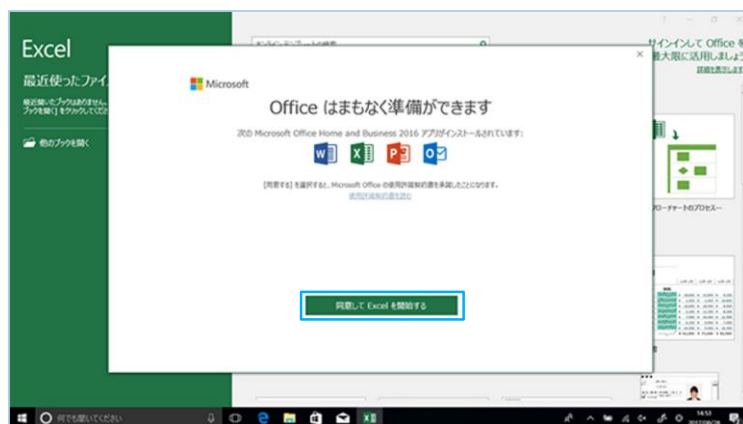
ライセンス認証に用いる

ID・パスワードを入力し、[次へ]をクリックします

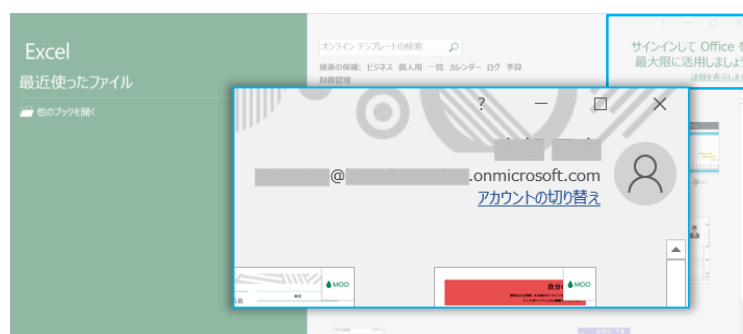


しばらく待つと「まもなく準備ができます」という画面が表示されます

[同意して~を開始する]をクリックします



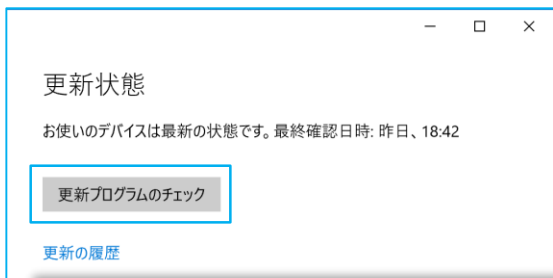
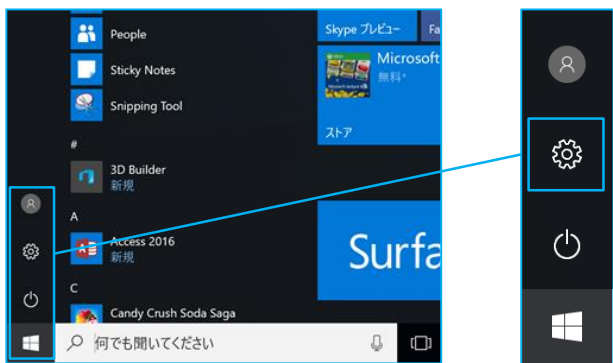
Officeアプリケーションのウィンドウ右上にサインイン状態を示す情報が表示されます





Surfaceを活用するために





Windows 10 では、デバイスの安全と最新状態を維持するために、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動的に行われます

これによって適用される最新の修正プログラムとセキュリティ更新プログラムは、デバイスの効率的な動作と保護に役立ちます

「スタート」-[設定]を開き、[更新とセキュリティ]をクリックします

[更新プログラムのチェック]をクリックします

更新プログラムがあった場合は適用します

[今すぐ再起動する]をクリックするとOSが再起動し、更新適用が始まります

注意点

ほとんどの場合、デバイスの再起動によって更新プログラムが完了します

時間に余裕のあるタイミングで、フル充電された状態で適用してください

更新プログラムがインストールされることがわかっている場合は、電源に接続のうえインストールを行ってください

更新インストール中の電源OFFは絶対に行わないでください

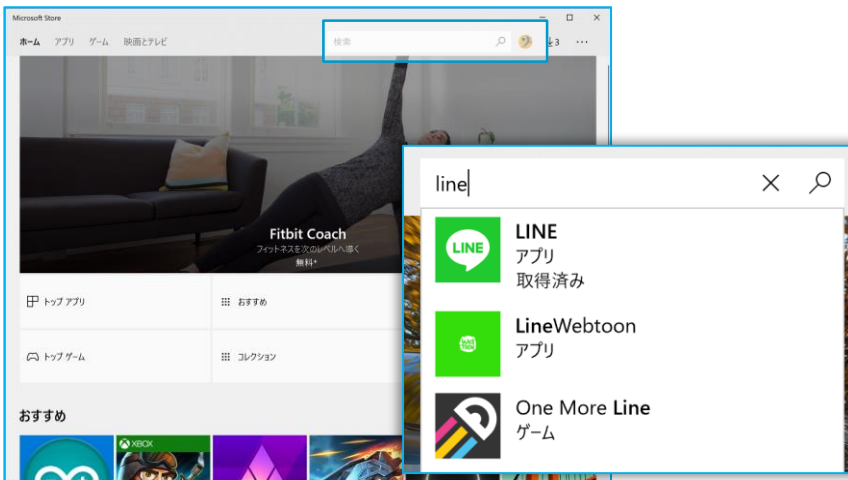


アプリのダウンロードにMicrosoftアカウントが必要な場合があります



LINE・Twitter・InstagramなどのアプリをSurfaceにインストールして活用しましょう

スタートメニュー内もしくは画面下部のタスクバーにある「Microsoft Store」をクリックして起動します



「Microsoft Store」では無料/有料のアプリをダウンロードして利用できます

右上の検索ボックスにキーワードを入力してアプリを探すことができます

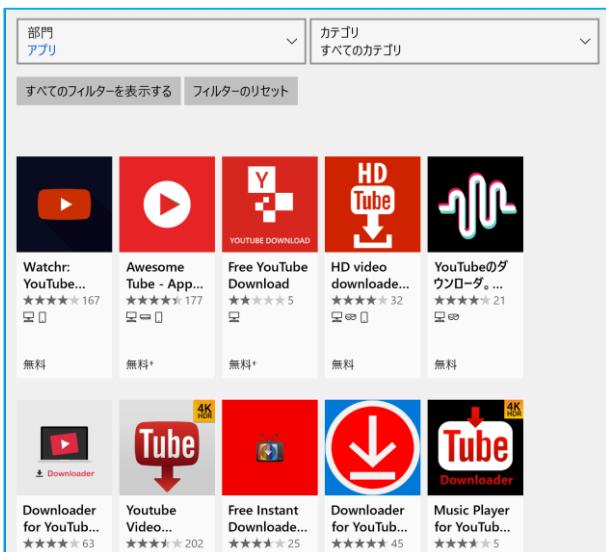
[入手]もしくは[インストール]をクリックするとインストールが開始されます

インストールしたアプリはスタートメニューに表示されます



※インストールの前にアプリのディベロッパー(開発者)を確認しましょう

一例としてLINEのディベロッパーは「LINE Corporation」ですので公式アプリです



「Youtube」と検索した結果の画面です

表示されているのはすべて非公式のディベロッパーのアプリです

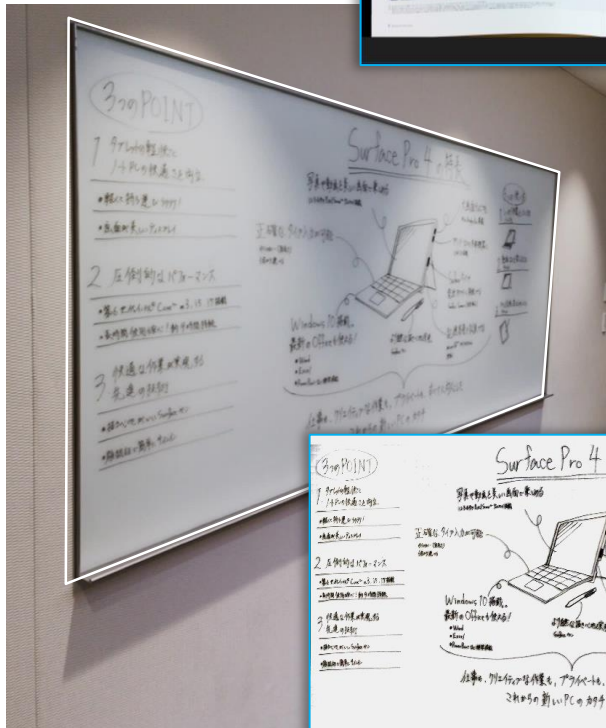
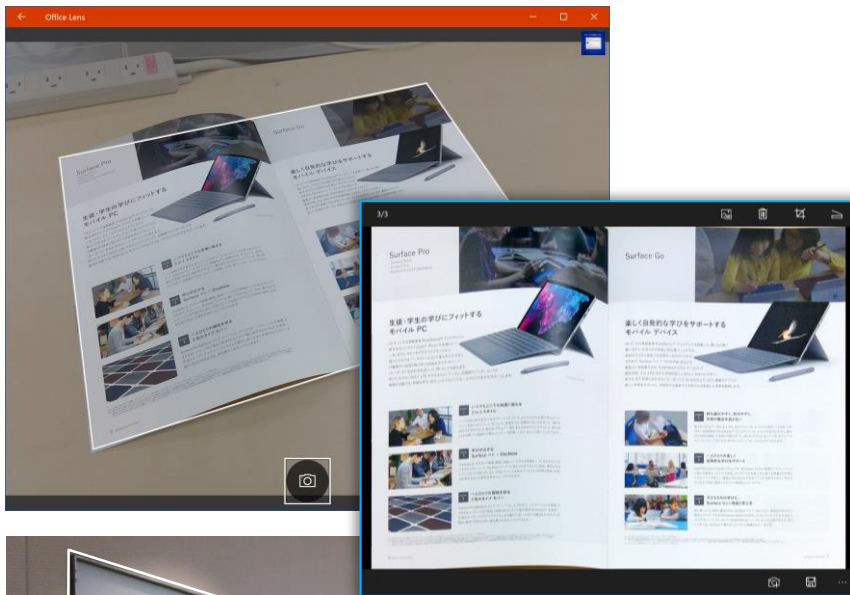
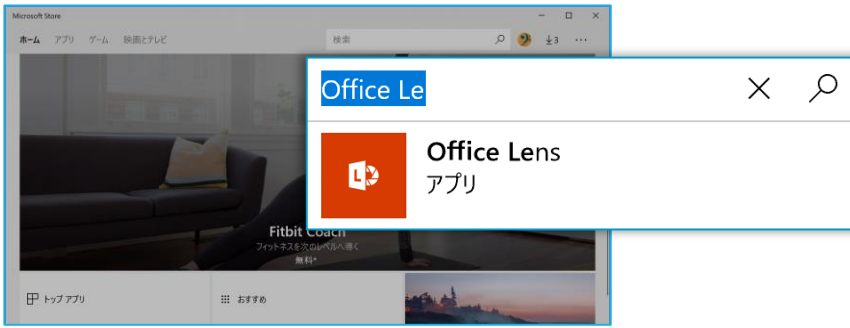
別のアプリをインストールさせようとする

インターネットブラウザの初期ページを強制的に書換える

個人情報にアクセスしようとする

などのリスクを伴います

自己責任のもとで利用してください



Surface には背面カメラが搭載されています

カメラを利用するアプリの1つに「Office Lens」があります

「Microsoft Store」の検索ボックスに「Office Lens」と入力し、表示されたアイコンをクリックします

[入手]をクリックすると、ダウンロードが始まります

Office Lens はホワイトボードや配布されたプリントを撮影し、自動補正したうえで OneNote や OneDrive に保存できるアプリです

スタートメニューから Office Lens を起動します

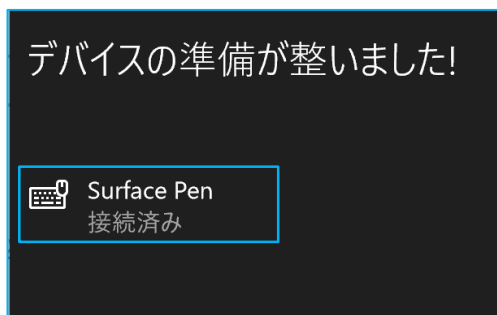
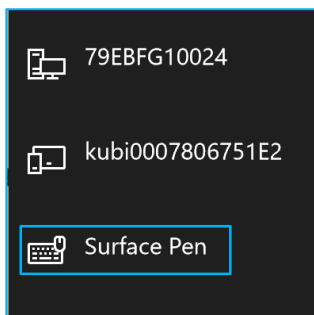
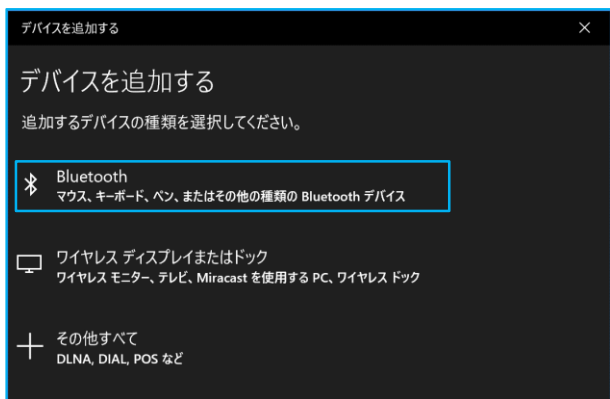
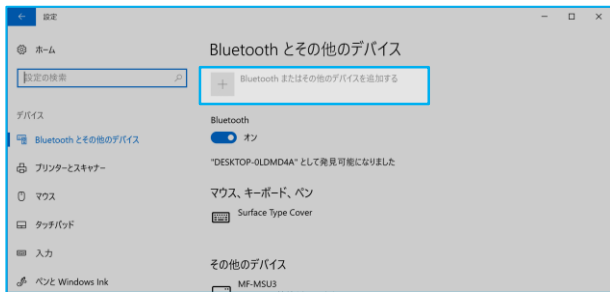
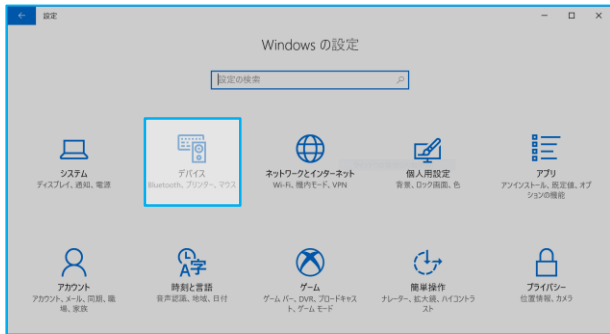
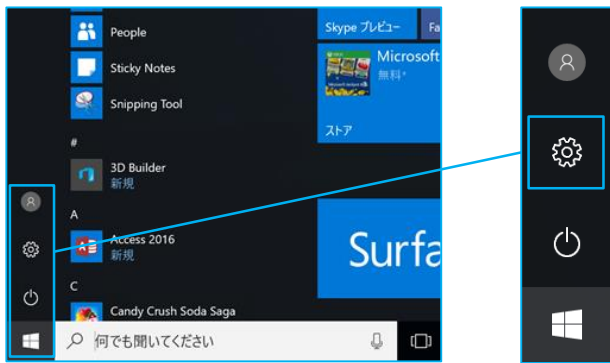
白いフレームが四角い対象を絶えず探そうように動作します

撮影のやりかた

1. 撮影対象が画像内に収まるように位置合わせします
2. フレームが撮影対象と重なったらシャッターボタンをタッチします
3. 保存先を選択して保存します

※ネットワーク接続されていない場合は [ギャラリー] を指定してください

撮影画像は [ピクチャ] フォルダに保存されています



Surface ペンはBluetooth のペアリングなしでも書込み可能です

ペアリングするとトップボタンによる機能ショートカットが有効になります

画面左下の[スタート]ボタンをクリックします

スタートメニュー左下の歯車のアイコンをクリックします

「Windows の設定」が表示されます

[デバイス]をクリックします

[Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]をクリックします



Surface ペンのトップボタンを5～7秒長押しします

トップボタン下のLEDが点灯すると、ペンが検出可能になります

デバイス追加の画面が表示されます [Bluetooth]を選択します

Bluetooth デバイスの一覧に「Surface Pen」が現れたら、選択します

数秒待つと、ペアリングが完了します

[完了]をクリックします

Windows Hello を利用すると、顔認証でのサインインが可能になります

画面左下の[スタート]ボタンをクリックします

スタートメニュー左下の歯車のアイコンをクリックします

「Windows の設定」が表示されます

[アカウント]をクリックします

アカウントの画面で左列から[サインイン オプション]を選択します

サインイン オプションの項目が表示されます

「PIN」の項目にある[追加]ボタンをクリックします

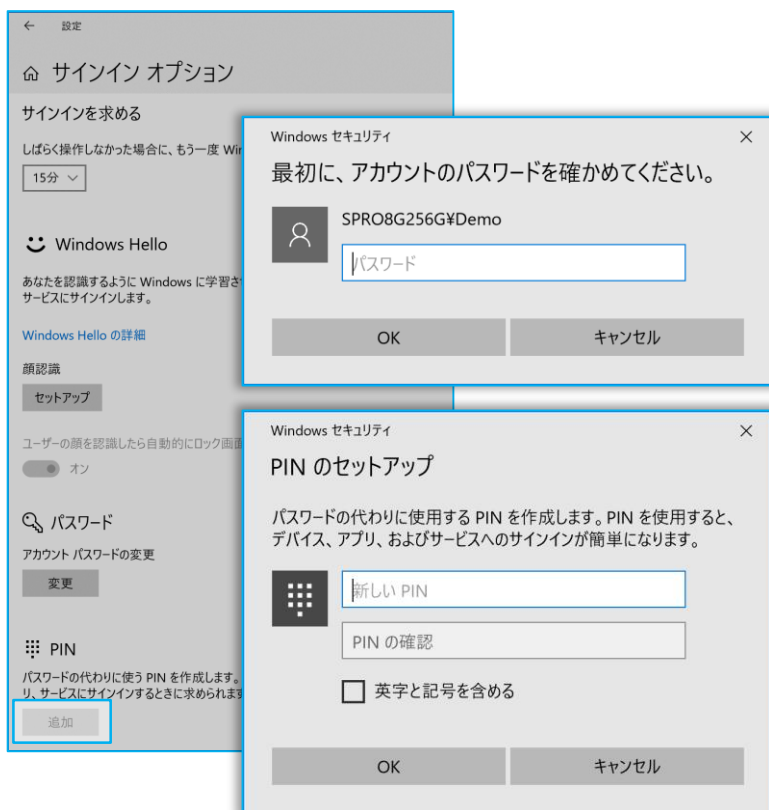
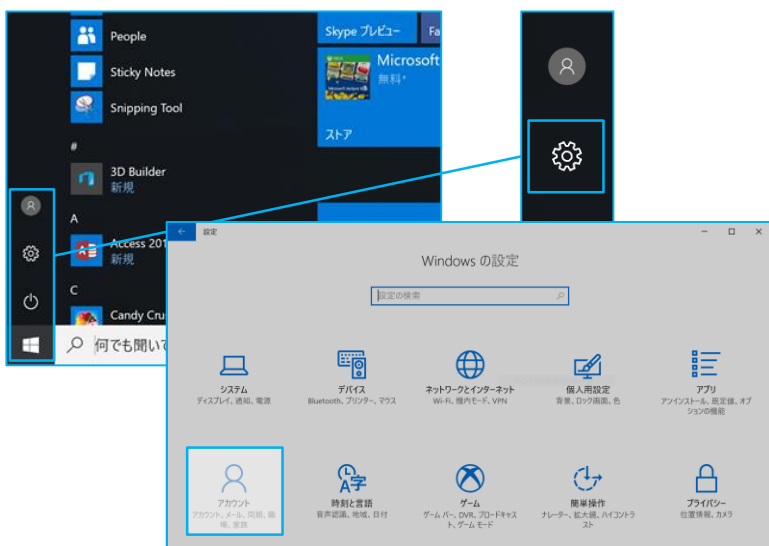
※初期セットアップでパスワードを設定していない場合、[アカウントパスワードの変更]からパスワードを設定する必要があります

アカウントのパスワードを入力し、[OK]をクリックします

PINを設定します

4桁以上の数字を入力してください

2つのボックスに希望するPINを入力し、[OK]をクリックします





[アカウント]-[サインイン オプション]の項目、
顔認識の[セットアップ]をクリックします

Windows Hello の設定ウィンドウが開きま
す

[開始する]を開きます

ユーザー確認のウィンドウが表示されます

設定したPINを入力します

フロントカメラで顔を登録します

ディスプレイ上部のカメラを見続けてください

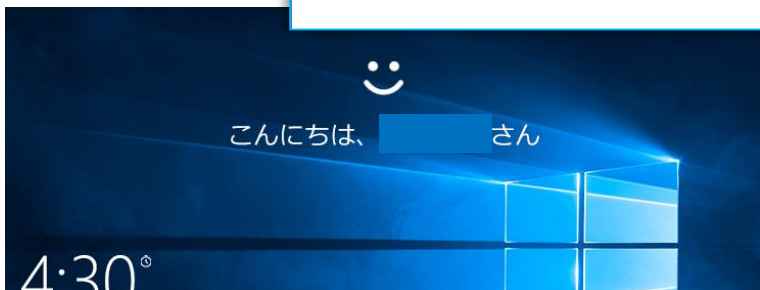
セットアップが完了します

[閉じる]ボタンをクリックします

メガネあり・なしなど複数登録可能です
必要に応じて同様の作業を行ってください

顔認証でサインインできるようになります

認識できない場合はPINもしくはパスワード
でサインインしてください





※OneDrive はクラウドを使ったストレージサービスです

Office アカウント もしくはMicrosoft アカウントを設定して利用します

デスクトップ右下の[^]をクリックし、雲のアイコンをクリックします

OneDrive の設定ウィンドウが表示されます

アカウントのメールアドレスを入力し、[サインイン]をクリックします

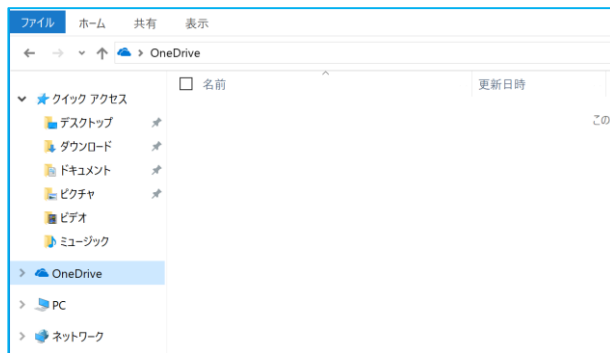
アカウントのパスワードを入力し、[サインイン]をクリックします

OneDrive を紹介するウィンドウが表示されます

[次へ]をクリックします

同期するフォルダーの選択ウィンドウが表示されます

[次へ]をクリックします



「OneDrive へようこそ」OneDrive の機能紹介のウィンドウが表示されます

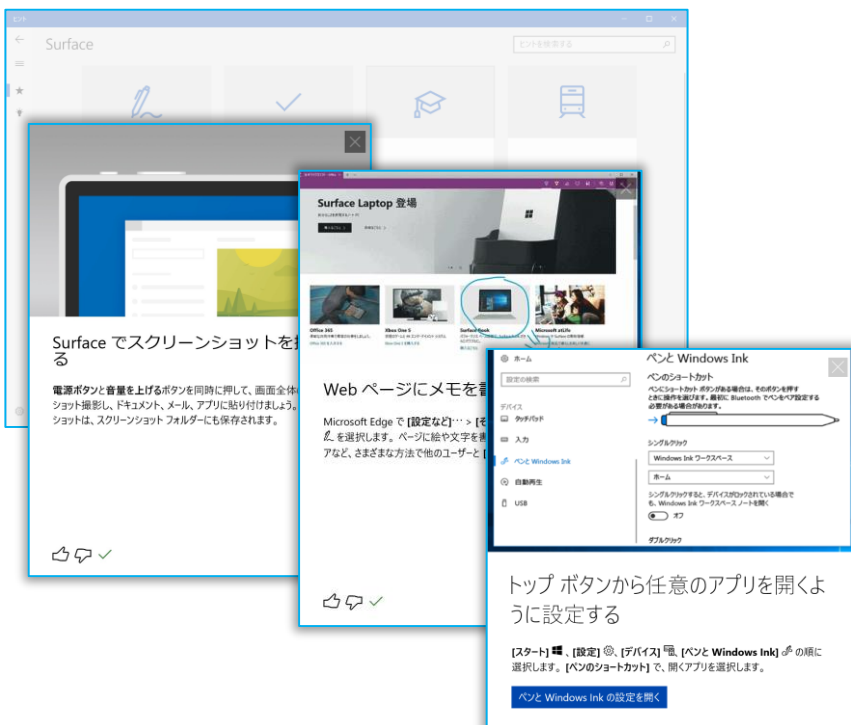
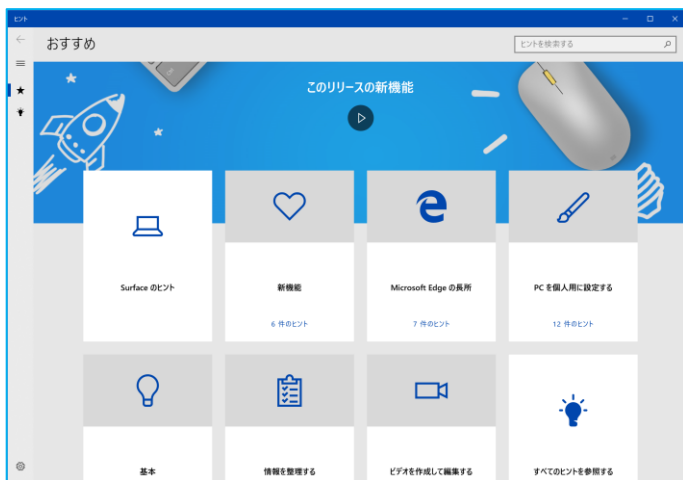
[>]をクリックし、紹介をすすめます

OneDrive の準備が完了しました

OneDrive フォルダーが表示されます

OneDrive に保存したファイルは同期され、PC のトラブルがあった場合もデータの復旧が可能です

別のPCやスマートフォンからもインターネット経由でOneDrive 上に保存したファイルを閲覧・コピーが可能です



ヒントアプリはSurface 活用に役立つ簡潔なヒントが収められています

各ヒントにはボタンがあり、1 回クリックするだけで紹介機能を試すことができます

詳しい情報を参照することもできます

数分あれば一連のヒントを 1 つか 2 つ見終わることができます

[スタート] メニューを開きます

一覧から、もしくは「ヒント」とタイプ入力して検索結果に表れる[ヒント] を選択します

使い方

- 1.[おすすめ] を選択し、カードを選択して一連のヒントを開きます
- 2.[コレクション] を選択し、参照するヒントのカテゴリを選択して一連のヒントを選択します
- 3.右上の [ヒントの検索] ボックスを選択し、テーマのキーワードを 1 つか 2 つ入力するか、詳しい情報を調べたい Windows 10 のアプリを入力します

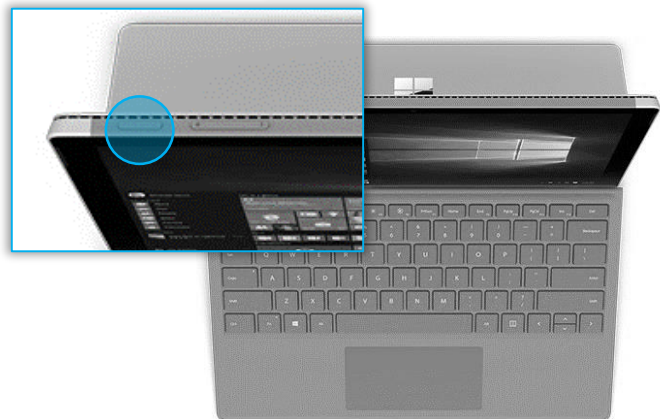
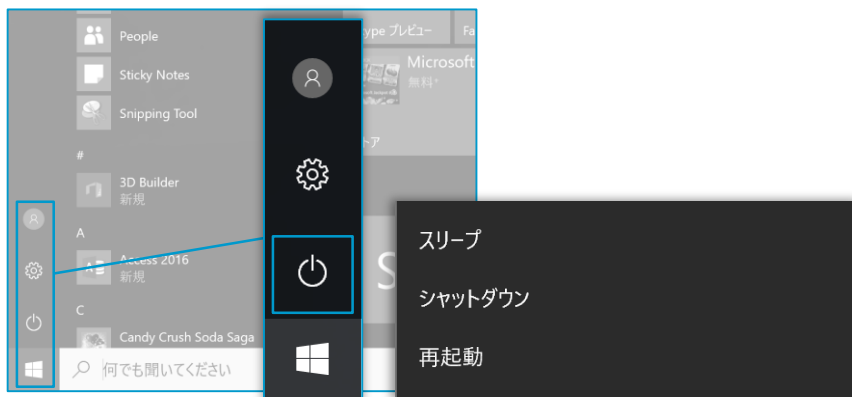
ヒントにボタンがある場合はクリックすると該当するアプリが起動します

ヒントアプリの利用にはインターネット接続が必要です

「Microsoft ヒント」というサイトでも同様のヒントを閲覧できます

スマートフォンでも下のQRコードから閲覧可能です





通常のシャットダウン方法

方法1

[スタート] メニューを開き

[電源] > [シャットダウン]を選択します

方法2

電源ボタンを長押し (約 4 秒)

[スライドして PC をシャットダウンします] 画面が表示されたら下にスライドします

動作が不安定、フリーズした場合はシャットダウンできない場合があります

やむを得ない場合は以下の方法でシャットダウンしてください

シャットダウンできないときは



方法1 電源10秒長押し

画面オフになるまで電源ボタンを長押しした後 (約 10 秒)、電源ボタンを離します。

電源ボタンを押し、再度 Surface の電源を入れます。

方法2 電源20秒長押し

Surface が再起動するまで電源ボタンを長押しし続け、Windows ロゴ画面が表示されたら (約 20 秒) 電源ボタンを離します。

方法3 ツーボタンシャットダウン

Surface の電源ボタンを 30 秒間押ししたままにしてから、離します。

音量を上げるボタンと電源ボタンを同時に押し、そのまま 15 秒以上押し続けてから、両方のボタンを離します。

画面に Surface ロゴが短時間表示される場合がありますが、両方のボタンを少なくとも 15 秒間は押し続けてください。ボタンを離した後、10 秒間待ちます。

電源ボタンを押し、再度 Surface の電源を入れます。